

石川県

石川県退職校長会

設立 昭和41年6月26日

本会は、昭和41年（1966年）に教育振興を目指す有志会員281名によって結成された。会員の親睦と福祉にも力を入れており、関係諸団体と連携して教育の振興や研修活動に取り組んでいる。現在県内には11支部があり、県と支部が連携して諸活動に取り組むとともに、各支部において独自の活動も行っている。会員は県内の小・中・高等学校、特別支援学校の退職校長である。（会員数は1610名 令和6年度）

令和6年度からは「役職定年制」が導入されたため、60歳で退任した校長を対象に新規会員の勧誘に努めているが、新会員の確保は大きな課題である。

1 令和6年能登半島地震と対応

令和6年元旦に起きた能登半島地震により、能登地区の5支部では4名の尊い命を失い、大多数の会員が家屋の倒壊・損壊等の大きな被害を受けた。また、珠洲支部と輪島支部は、同年9月に大規模な洪水により大きな被害を受けており、多数の会員が地元を離れて避難しているため、会員の所在確認すら難航している状況である。

地震後（2月と3月の2ヶ月間）、能登地区の中学生約400名が金沢市と白山市の3施設に避難した際には、金沢支部と白山野々市支部の会員延べ90名が、地震の支援活動として、避難施設を訪れる保護者等の受付対応を行った。

地震発生後、全連退本部をはじめ多数の県退職校長会からの励ましの言葉や義援金は、復興への大きな力となっている。義援金は被災支部に、7月と2月各支部に届けた。励ましとご支援をいただいた皆様に心より感謝申し上げたい。

2 特色ある活動

◇学校支援ボランティア事業

平成22年度にスタートして本年度で15年目を迎える。教科指導、児童生徒支援、安全指導等や各種講演会講師、いじめ対応アドバイザー等に積極的に協力している。

◇会報の定期発行

全国、東海ブロック、県や各支部の様子・情報、会員の動静、会員の芸術・文芸作品等を掲載し、2月と9月に発行し、全会員と現職校長、関係機関に配付している。

◇グッドマナーキャンペーン

毎年9月中に全11支部で登校時の挨拶運動や安全指導を行っている。令和6年度は学校や駅等227箇所、529人の会員が参加している。（珠洲・輪島支部除く）



グッドマナーキャンペーンの様子